



祝祭日には



を掲げましょう

いまこそ集落創生

第30回 柳原地区

少年番楽を小学校で学んだ青年も演者として参加し、精力的に芸を磨き、この土地に根差した番楽を後世に継承すべく活動している。



町中心部から北東に6km。過去30年来、神室エリアや遊学の森、風の丘公園など、町内では最も変化を遂げた柳原地区。現在は43世帯、人口126人が暮らしています。

柳原地区が最も賑やかになるのは「柳原まつり」の日、8月14日です。馬頭観世音の祭礼行事として、早朝から境内を清め祭りがスタートします。コロナ禍の今年は、境内の掃除のみとなりますが、何も言わずとも若連は誘い合って参加し、作業では自然に草刈班や竹ぼうき班が機能する姿がある。「支え合い一人一人が役割を果たしてくれる地区民がいる。これこそが柳原だ」と矢口一寿区長は語ります。

地区を代表する「柳原番楽」。番楽保存会は下向地区の若者4名を含む14名で活動をしています。幅広い年齢層が集い、楽しみ、伝統の継承に使命感を持って活動し、先代から引き継ぎ20年になりました。また、平成27年から29年の「消防操法最上支部大会3連覇の偉業」は地区に活気をもたらし続けてきました。3連覇の偉業達成は他分団にも多大な影響を与えると同時に、自分との闘いを含めた厳しい練習の中で生まれた同志としての絆が今後の生き方や地域づくりに大いに生かされていくことでしょう。

人口減少の一途をたどり、小学生児童がいる家庭は4戸。高齢者世帯が4割という状況は、地区の将来展望を描くには大変厳しいものがあります。しかし「柳原が好き」「仲間が好き」だから「ここに住み続けたい」と言う声が多いのは、番楽や祭り、消防を通し、子供から大人まで幅広い世代で地元愛を育成してきた結果です。「多少の不便さはあっても、生まれた郷で大好きな仲間と心豊かに暮らせるように今後の地区運営に取り組んでいく」と区長は意気込みます。

金山町の人口は、5,293人（7月末現在）

男性	2,587人(-2)
女性	2,706人(-1)
世帯数	1,756世帯

▼7月の異動

出生	1人
死亡	6人
転入	9人
転出	7人

編集 後記

▼金山祭りが
ない夏は何か
物足りない。
そんなことを感じた方も多いのではないのでしょうか。
町の伝統行事である祭りがもたらす活気的重要性を改めて感じました。来年は開催できる事を祈ります。例年とは違った夏の思い出を作りたいと言ったものの、積極的に外出することもなく、暑さに耐えるだけの夏になってしまいました…。

▼6月は防災月間です。災害が多いこの時代を生き抜くために、防災訓練に参加し、防災力を身に付けましょう。